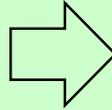


畑地かんがい用水を活用した露地野菜の栽培と作業受託による地域貢献 ～株式会社 アグリトピアおすず～（法人番号4350001005876）

経営体の概要

設立年度：平成18年度
 基幹作物：しそ、かんしょ等
 作付面積：19.0ha
 労働力：25名



現 在：平成30年度
 基幹作物：しそ、モロヘイヤ等
 作付面積：52.4ha
 労働力：23名

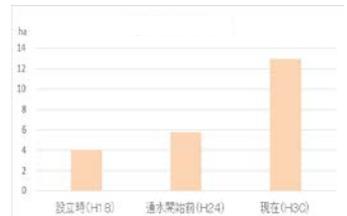
取組の経緯と経営転換のポイント等

株式会社アグリトピアおすずは、尾鈴地区の畑地かんがい用水、広大な農地の有効活用を目的に、平成19年2月に設立された。平成27年度の通水開始以降、国営事業で確保された畑地かんがい用水を活用し、露地野菜の計画的・安定的な生産を行っている。このうち、しそは一次加工までを自社で行うことで、雇用の創出と経営の安定を実現している。また、計画的なかん水作業により創出された労働力を作業受託に活用し、契約農家の重労働を請け負うことで、契約農家の作業が軽減され、地域農業の維持・発展にも貢献している。

営農改善のポイント

①作物の変化

作物は、通水開始前からしそ、モロヘイヤ等のより高収益な品目へ移行し、通水開始後は、安定した畑地かんがい用水の活用により、作付面積も増加している（H24:33.2ha→H30:52.4ha）。また、周年栽培が可能となり通年雇用に繋がったことで、契約農家のしその播種、収穫等の重労働の作業受託が可能となった（H30しその延べ作業受託面積:11.0ha）。



しそ作付面積の比較

②単収・品質の向上

しそ栽培では、畑地かんがい用水の活用により、生育初期からの定期的なかん水で生育が旺盛になり、通水開始前の降雨に左右されていた栽培に比べ、単収が増加している。なお、県のH27実証試験ではかん水区は無かん水区に比べ24%増収している。



しそのかん水（自走式散水機）

③流通・販売の工夫

通水開始後は、契約農家とのインテグレーション契約により、かん水作業を含む栽培管理方法等を取り決めていることにより、加工用に適したしそが生産されている。また、自社で一次加工施設を整備し、契約農家分を含めロットを確保したことにより、県外の加工会社へふりかけやうめぼしの原材料用として有利販売に繋げている。



しその収穫

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
 関係市町：川南町、高鍋町、都農町
 受益面積：1,580ha
 事業期間：平成8年度～平成25年度
 事業目的：畑地かんがい
 主要工事：ダム2カ所（うち1ヶ所は改修）、
 頭首工1カ所、用水路36km、
 ファームポンド4カ所、導水路1km

位置図（宮崎県）



<問い合わせ先>

九州農政局
 農村振興部農地整備課
 電話：096-211-9111
 （内線：4773）

（令和元年度調査時点）